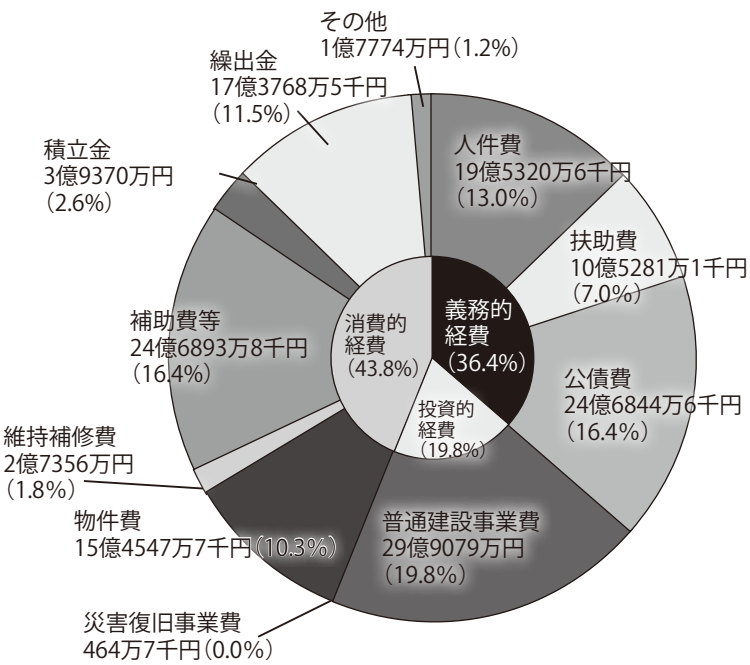
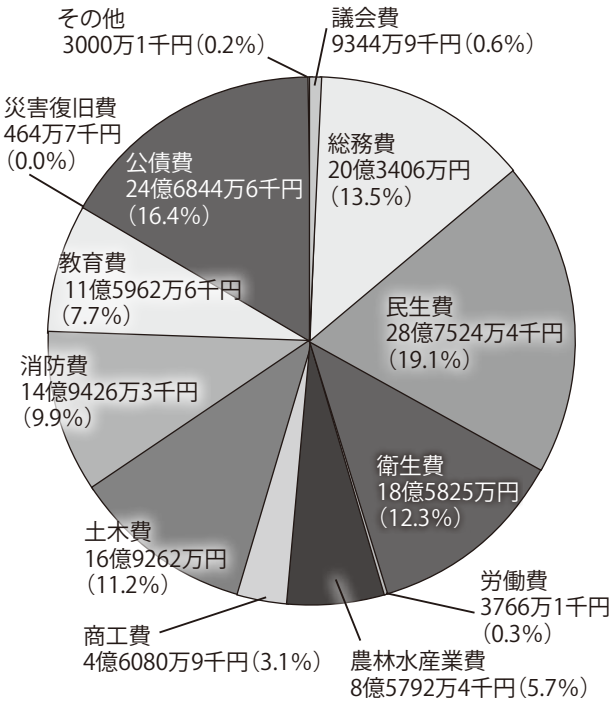


歳出（性質別）



歳出（目的別）



平成 28 年度当初予算は、27 年度に策定した第 2 次総合計画と創生総合戦略に基づき、定住促進や産業振興のほか、防災力の強化、子育て支援や教育の振興に力を注ぐ積極的な予算となっています。一般会計は総額 150 億 6,700 万円と、前年度同等（1,300 万円減）の予算規模となりました。

歳入では、町税が前年度並みの 16 億 4,130 万円を見込んでいます。

歳入全体の約 48％を占める地方交付税については、国勢調査による人口減や合併算定替の縮減により、前年度比 4 億 8,490 万円減の 72 億 9,500 万円を見込んでいます。

分担金及び負担金については、県営ほ場整備事業や矢波漁港消波堤整備工事の地元分担金などにより、1,622 万円増の 1 億 2,582 万円を見込んでいます。

国庫支出金・県支出金については、小学校大規模改造事業の終了などにより、1,081万円減の合計17億3,996万円を見込んでいます。

寄附金は、ふるさと能登町応援寄附（ふるさと納税）の大幅増により、前年度比 1 億 3,000 万円増の 1 億 5,010 万円を見込んでいます。

繰入金は、財政調整基金やふるさと振興基金からの繰り入れにより、1 億 3,850 万円増の 3 億 1,604 万円となりました。

町債においては、消防庁舎建設事業や衛生センター施設改良事業、ドブネ収蔵庫整備事

一般会計予算

150億6,700万円
(前年度比 1,300 万円減)

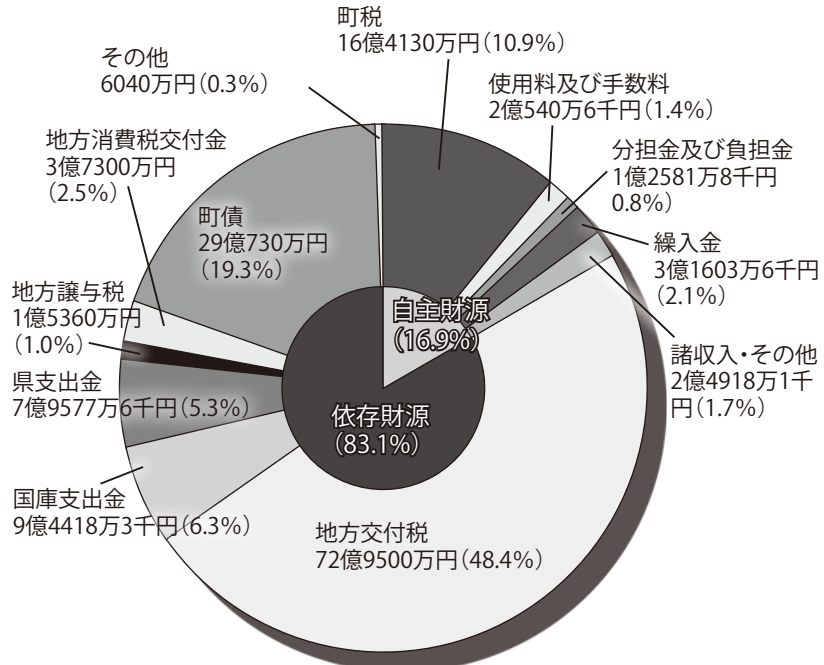
業などの増により 1 億 7,050 万円増の 29 億 730 万円となりました。借金である町債は、公共事業の地域経済への影響と公債費負担適正化とのバランスを考慮しながら、計画的な発行に努めています。

歳出では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が総額 54 億 7,446 万円となり全体の 36％を占めました。そのうち人件費については、退職手当組合への負担金減などにより 1 億 8,978 万円減の 19 億 5,321 万円となっています。公債費は、地方債残高を減少させるための繰上償還金 2 億 5,291 万円を見込むほか、これまでの繰上償還の実施により 3 億 4,611 万円減の 24 億 6,845 万円となりました。

普通建設事業費は、新規に 2 地区の集会所整備を行うほか、消防庁舎建設事業や小木地区都市再生整備事業などで増額が見込まれますが、小学校大規模改造事業やテニス資料館建設事業の終了により、前年度比 5,562 万円減の 29 億 9,079 万円となりました。

物件費や補助費等を含む消費的経費は、前年度より 5 億 9,175 万円増の総額 65 億 6,710 万円となりました。除雪経費のほか、ほっと石川観光推進プラン推進ファンドへの貸付金、臨時福祉給付金、ふるさと振興基金積立金などが増額となりました。また、行政庁舎等の整備のため、前年度に引き続き庁舎建設基金に2 億5,000 万円の積立を行います。

歳入



◆地方債残高

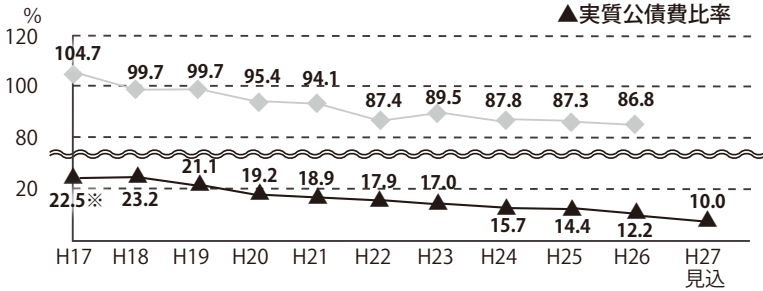
区分	平成 27 年度末（見込）	平成 28 年度（見込）
普通会計※	206 億 5477 万円	211 億 2588 万 7 千円
特別会計	109 億 7769 万 1 千円	108 億 875 万 6 千円
企業会計	34 億 6175 万 5 千円	32 億 9505 万 2 千円
計	350 億 9421 万 6 千円	352 億 2969 万 5 千円

※一般会計と有線放送特別会計の合計

◆基金総額

区分	平成 27 年度末（見込）	平成 28 年度（見込）
一般会計	63 億 7183 万 2 千円	64 億 4949 万 8 千円

◆財政指標の推移



※実質公債費比率の H17 は制度改正後に置きかえると「23.9」

用語解説

【歳入】

自主財源…町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入
繰入金、諸収入など自主的に収入しうる財源

依存財源…地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債など、国や県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入

町税…町民税、固定資産税など、皆さんが納めた税金

繰入金…町の基金からの繰入金
諸収入…町税の延滞金などの他の収入科目に含まれない収入。

地方交付税…地域間の税源の不均衡を調整し、すべての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるようにするために、国が地方公共団体の一般財源として配分する税
国庫支出金・県支出金…各種事業に対する国・県からの補助金など

町債…資金調達などの長期借入金など

【歳出】

人件費…議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、非常勤含む職員給など

扶助費…社会保障制度の一環として、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき、生活を維持するために支出される経費や各種扶助の経費

公債費…町債の元利償還金及び一時借入金の利息の合算額
普通建設事業費…道路、学校など公共用または公用施設の建設事業に要する経費

物件費…需用費（消耗品等）、役務費（郵便料、火災保険などの保険料等）、備品購入費など
補助費等…各種団体への補助金や奥能登クリーン組合、宇出津病院への負担金など

繰出金…一般会計と特別会計または、特別会計相互間で支出される経費。

【財政指数等】

基金…特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用するために設けられる資金または財産
経常収支比率…財政の弾力性を示す指標。数値が低いほど自由に使えるお金が多い。

実質公債費比率…普通会計に企業会計や一部事務組合も含めた実質的な公債費への財政負担の程度を示す指標。

会計別予算と

主要施策

区分	予算額	増減
一般会計	150億6700万円	△ 0.1%
特別会計	85億9196万円	3.2%
有線放送	3億3988万3千円	43.6%
国民健康保険	32億1826万8千円	5.1%
保険事業勘定	32億1107万2千円	5.1%
直営診療施設勘定	719万6千円	7.2%
後期高齢者医療	3億 172万9千円	0.7%
介護保険	29億2609万5千円	2.5%
保険事業勘定	29億 967万6千円	2.5%
サービス事業勘定	1641万9千円	△6.3%
観光施設	1億 2万6千円	△ 30.5%
公共下水道事業	6億6147万5千円	7.6%
農業集落排水事業	4億3470万円	△ 6.5%
漁業集落排水事業	4334万4千円	2.0%
浄化槽整備推進事業	6380万1千円	8.0%
簡易水道	5億 263万9千円	△ 8.2%
企業会計		
水道事業会計	8億7269万4千円	2.6%
収益的支出	4億9207万7千円	△ 5.7%
資本的支出	3億8061万7千円	15.9%
病院事業会計	28億9677万9千円	0.3%
収益的支出	24億5785万9千円	△ 3.4%
資本的支出	4億3892万円	27.4%
予算合計	274億2843万3千円	1.0%

①自然環境との絆を大切にしたまちづくり

環境にやさしい
町づくり推進事業

15, 181千円

▽地区管理防犯灯LED化に
対する補助、町管理の街灯LED
化工事、ペレットストー
ブ・薪ストーブ購入補助、グ
リーンカーテン設置、生ごみ
処理機補助、住宅太陽光発電

システム設置補助
海洋教育拠点校推進事業

200千円

▽平成27年度は小木小学校が
文部科学省の教育課程特例校
に認定され「里海科」を設置
した。今年度は町内全小中学
校の総合学習の時間で、年5
時間の海洋教育を実施する。

②誰もが住みたいと感じる地域が一体となったまちづくり

除雪対策事業

195, 189千円

▽除雪機械購入補助：町道
除雪協力業者が購入する除
雪機械経費の1／2、上限
500万円を補助する。

社会資本整備総合交付金事業

391, 500千円

橋りょう補修6路線、落石対
策1路線、消雪2路線、橋りょ
う・トンネル定期点検
改築5路線、防災安全2路線
道整備交付金事業

235, 800千円

▽改築9路線、側溝改修4路
線、舗装10路線

駅山手線街路整備事業

76, 248千円

▽道路改良、用地取得、建物
補償費

小木地区都市再生整備事業

114, 500千円

▽「イカのまち小木」の発信
により交流人口を呼び込むと
ともに、住みとなるまちづ
くりを進める。今年度は7路
線の整備、観光交流センター
用地取得、企画業務を実施
のと里山空港利用促進事業

17, 783千円

▽空港利用促進事業補助金：
地元住民対象に空港利用助成

を行う。往復3千円（団体千
円増） 小人は2千円、利用者
減少時期にあわせ助成金額を
増額。修学旅行は往復4千円、
小人2千円。空港利用誘客促
進事業：空港を利用して町内
で宿泊する人に2千円（小人
1千円）を助成

防災総務費

14, 134千円

▽自主防災組織リーダー育成
事業、備蓄品購入、中学生に
対する防災まちづくり講演実
施、防災まちづくり会議の設
置、自主防災組織育成補助金
柳田地区で町総合防災訓練実

施

緊急防災・減災事業

8, 250千円

▽3地区で避難路を整備する
消防庁倉建設事業

897, 401千円

▽宇出津分署の設計監理、庁
舎建設工事、外構工事ほか
衛生センター施設改良事業

155, 161千円

▽平成29年度までの2力年で
改良工事を実施。し尿、農業・
漁業集落排水、浄化槽の汚泥
を衛生センターから公共下水
道に希釈投入し、維持管理経
費の削減を図る

③地域の魅力を生かしたしごとづくり

能登町一次産業「見える」化事業

5, 400千円

▽担い手不足が深刻な一次産
業を映像化し、子どもやU・
Iターン希望者へ周知する。
漁業編に続き今年度は農業編
を制作

創業等支援助成金

3, 200千円

▽起業・事業承継に対し、初
期投資等を支援

鳥獣被害防止対策事業

5, 665千円

▽害獣捕獲報奨金、カラス捕
獲檻購入、電気柵設置補助
ブルーベリー振興対策事業

28, 094千円

▽農林産物総合センター・き
のみワイナリーの指定管理
料、ブルーベリー普及セン
ター業務委託。新植栽方法の
普及促進に向け、生産組合に



対し資材費を補助
高品質化機械導入事業

8, 129千円

▽共同利用や農産物の高品質
化に資する生産施設・機械等
の整備費用の一部を支援し、
農業振興を図る。（米の色彩
選別機1台、柿脱渋機械2台）
能登町産米

ブランド力向上支援事業

4, 000千円

▽町おもしろいお米づくり研究
会に補助し、食味測定器の活
用などで町産米の米価向上を
図る。統一栽培指針の特別裁
培実証圃で使用する資材費、
首都圏への販促、食味測定器
リース料、機械管理・土壌分

析、町内米穀販売店のお米マ
イスター取得助成費など
畜産事業事務費

2, 382千円

▽能登牛認定店促進事業：県
内最大の能登牛生産地域であ
る能登町で能登牛販売店と飲
食店を増やし、消費拡大につ
なげる。乳用牛振興奨励事業
：雌雄判別精液の人工授精経
費補助。能登牛生産体制整備
事業、能登牛PR振興事業

県営ほ場整備事業

90, 200千円

▽柳田中央、五十里・黒川、
柳田南部、寺五地区の負担金。
柳田西部換地清算金、農地整
備環境機能増進事業、高度土
地利用調整事業

矢波漁港消波堤整備工事

18, 000千円

▽矢波漁港の消波堤を整備
し、漁船の安全な係留及び陸
揚作業を可能とする。

観光振興対策事業

140, 476千円

▽姉妹都市や首都圏など出向
宣伝旅費、灯りイベント用LED
購入、観光誘客ポスター・
パンフレット・ドライブマッ



プ、外国人向け観光パンフ
レット、広告料、CM業務、
灯り回廊、のと海洋ふれあい
センター事業補助委託、恋路
海岸備品購入、レンタカー誘
客助成、宿泊補助
地域づくりイベント補助金

10, 000千円

▽地域づくりイベントに対し
て助成（苺一会ごさ祭り、
秋の味覚市、のと寒ぶりまつ
り、イカす会）

観光施設管理事業

27, 007千円

▽恋路海岸のw i l f i整
備、たびスタ管理運営、越坂
探勝遊歩道改修、観光施設維
持管理・除草・清掃など

火事・救急・救助は局番なしの119番 高機能消防指令センター(輪島市)受付開始



高機能消防指令センターが置かれる本部庁舎

通報は、最寄りの消防署へ直接電話せず、局番なしの119番にしてください。
 通話方法はこれまでと変わりません。
 落ち着いて通報してください。

聴覚や言語に障がいのある方や、音声での通報に不安がある方は「NET119」やFAXを利用して119番通報することができます。職員の不在時にそなえ、各消防庁舎に駆け込み通報装置も設置しました。

緊急通報システム「NET119」

スマートフォンや携帯電話など利用して、119番通報することができます。文字情報でのやり取りが可能で、外出先でも通報できます。

NET119を利用するには事前に登録が必要です。パケット通信料は、利用者の負担となります。登録や利用方法などについては、消防本部ホームページをご確認ください。

使用可能媒体

インターネットに接続できる携帯電話・スマートフォン・タブレット端末・パソコン

FAXによる119番通報

ファクシミリを利用して119番通報することができます。事前登録の必要はありません。119番通報専用紙に必要事項を記入し、局番なしの119番へFAX送信してください。専用用紙や利用方法については、消防本部ホームページをご覧ください。

奥能登広域圏事務組合消防本部の高機能消防司令センターの運用を、3月28日に開始しました。

高機能消防指令センターは、119番通報発信者の位置情報などを地図上などに表示させる「位置情報通知システム」や、消防車や救急車の位置や状況を一目で把握できる「車両動態管理(AVM)システム」などの各システムを活用し、119番通報の受け付けをはじめ、出動隊の指令や消防活動の終了までを一元的に管理するところです。

消防指令センターには、24時間体制で119番通報に備えた専属の通信指令員が待機していますので、通報内容に応じて通報者への指導や指示が的確に行え、電話対応をしながら、必要な出動隊へ出動予告指令を出しますので、隊員はすぐに準備ができ、これまで以上に迅速・的確・効果的な消防活動が可能となります。

火災情報メール

消防指令センターが発信する火災情報メールの配信を受け取ることができます。

情報配信を希望する場合は、事前に登録が必要です。登録や利用方法などについては、消防本部ホームページをご確認ください。

各市町が発信する情報メール配信を受け取る場合は、各市町のホームページから登録してください。

駆け込み通報装置

各消防庁舎には「駆け込み通報装置」が設置しており、消防指令センターへ直接通報することができます。出動中で職員が不在になっている場合は、駆け込み通報装置を利用して通報してください。



お問い合わせ

奥能登広域圏事務組合消防本部

☎ 0768-23-0119

<http://www.okunoto119.jp/>

④健康で心に豊かさを持てる人づくり

すこやかあかちゃんお祝い金
 15,000千円

▽第1子：7万円↓10万、第2子：10万円↓20万、第3子以降：15万円↓30万円に増額
 子ども医療費給付事業
 28,006千円

▽18歳までの医療費自己負担額を給付する。10月診療分からは現物給付を開始し、窓口での負担が不要になる。
 公立保育所運営費
 97,727千円

▽第2子保育料を半額に(年齢、所得制限なし)。土曜午後の保育を3カ所所で試行
 次世代育成支援対策事業
 2,502千円

▽妊産婦の負担を軽減するため「産前産後子育てヘルパー」制度を導入。公共施設に「赤ちゃんステーション」を設置し、乳児を連れた外出を容易にする。乳児家庭全戸訪問、養育支援訪問、次世代育成支援、食育の推進
 がん検診事業
 22,371千円

▽早期治療によるがん死亡率の減少のため、検診を実施。

病院事業

433,085千円

▽看護師に対する修学資金貸与額を2万円増額、借入期間と同期間の就業で返済免除するよう、期間を短縮。医師修学資金制度を新設

⑤地域を通して共に学び、町の未来を担う人づくり

能登高等学校魅力化事業

8,695千円

▽新人生制服購入支援、通学補助、部活動費助成、公営塾、寮生補助実施のほか、能登高等学校魅力化プロジェクトを実施。

公民館特色ある活動事業

2,152千円

▽各公民館で特色ある活動を通して、地域活性化や振興を促進する。13館で予定
 ドブネ收藏庫整備事業
 211,526千円

▽国指定文化財「ドブネ」を保存する收藏庫を旧真脇小学



校グラウンドに建設。今年度は收藏庫の建築と外構工事を実施

猿鬼歩こう走ろう健康大会

4,000千円

▽今年度は第30回記念大会。町内全小中学生が参加するほか、レセプション開催や大会記念誌発行等を実施

能登国際女子オープンテニス

8,255千円

▽10回記念大会。今年度は町主催で大会を実施
 全国中学生体育大会
 ソフトテニス競技
 5,500千円

▽能都健民テニスコートで、24年ぶりに全国中学校体育大会が開催される。

⑥地域の絆を深め、住み続けたいくなるまちづくり

定住促進事業 4,600千円

▽家財等処分助成金：ふるさと空き家情報登録物件の家財道具等を処分する費用を助成
 住宅改修等助成金：移住者の新築住宅購入及び中古住宅改築に要する経費を助成
 定住促進助成金
 750千円

▽移住者向け住宅不足解消のため、民間業者が建設した賃貸住宅を借り上げ、町営住宅として転貸する。
 集会所整備事業
 65,655千円

▽日詰脇と矢波の2カ所に集会所を整備
 集会所修繕費補助事業
 2,000千円

▽補助額を経費の1/2から2/3へ拡充

⑦わかりやすい行財政と情報の共有によって、つながるまちづくり

ふるさと能登町応援寄付

91,412千円

▽ふるさとチョイスバナー広告を強化

公共施設等総合管理計画策定

4,839千円

▽公共施設等全体を把握し、長期的視点をもつて更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担を軽減・平準化する。最適配置を実現し、時代に即したまちづくりを行う。

電子自治体推進事業

41,777千円

▽設備関連機器更新やセキュリティ強化
 新統合庁舎整備費
 27,160千円

▽基本設計とプロポーザル選定に係る事務費
 庁舎建設基金積立
 250,000千円

▽庁舎整備にかかる財源確保